

(4)

FD論・研修形態

---

コース名：公開授業・検討グループ

(山地弘起)

---

対 象：問わず（学生も含める）

---

目 標：授業を公開しあい、互いの授業検討をとおして、改善と自己吟味に資する。

---

研修時間：1ターム

---

研修方法：

カンファレンス形式とし、授業評価の観点を事前に整理する作業も並行させながら、互いのやりとりを素材とする。

---

研修評価の観点：

・自身の授業観、改善方向の意識化と実践の変化

---

ラショナル：

共同行為としての授業を改善するために、共同行為としての検討作業によって活性化する方向をとる。しばしば授業が技術的な操作の対象となることへの反省である。基本的なコミュニケーション行為が問われるとともに、授業評価・学生評価の観点を整理することも含まれざるをえない。

---

備 考：

参加者は20名までとし、そのなかから公開授業提供者を3名以上募る。ビデオ記録をとる。授業計画表、授業経過票などのシートも準備。

京大高等教育教授システム開発センターの公開授業研究がひとつのモデルを提供する。

---